

明治ホールディングス株式会社

2025 年 7 月 31 日

報道関係者各位

明治グループの温室効果ガス削減目標が 「SBT（Science Based Targets） Net-Zero・FLAG」認定を取得

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：松田 克也）は、2025 年 7 月 5 日に、国際的な機関である SBT イニシアチブ*¹より明治グループの温室効果ガス削減目標が科学的根拠に基づいた目標であることが認められ、「SBT Net-Zero*²・FLAG*³」認定を取得しました。



SBT イニシアチブから承認された明治グループの目標は、以下の通りです。

【Near-term（短期）目標】

- ・スコープ 1+2 : 2030 年度までに温室効果ガス排出量を 2019 年度基準で 50%削減
- ・スコープ 3 : 2030 年度までに温室効果ガス排出量を 2019 年度基準で 30%削減
- ・スコープ 3 FLAG : 2030 年度までに FLAG の温室効果ガス排出量を 2019 年度基準で 33.3%削減

【Long-term（長期）目標】

- ・スコープ 1+2 : 2050 年度までに温室効果ガス排出量を 2019 年度基準で 90%削減
- ・スコープ 3 : 2050 年度までに温室効果ガス排出量を 2019 年度基準で 90%削減
- ・スコープ 3 FLAG : 2050 年度までに FLAG の温室効果ガス排出量を 2019 年度基準で 72%削減

また、明治グループにおける対象範囲は、以下の通りです。

- ・ スコープ 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼等）
- ・ スコープ 2：他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う温室効果ガスの間接排出
- ・ スコープ 3：購入した製品やサービス、上流と下流の輸送、販売した製品の使用後の廃棄に伴う温室効果ガスの間接排出

明治グループでは、2020 年 12 月に明治グループ長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」を策定し、「気候変動」「水資源」「資源循環」「汚染防止」の 4 つのテーマに取り組んでいます。「気候変動」では、2050 年までにサプライチェーン全体で CO₂ などの温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げています。

今後も持続可能な社会の実現に向けて、温室効果ガス削減に積極的に取り組んでまいります。

*¹ SBT イニシアチブとは、UNGC（国連グローバル・コンパクト）、CDP（旧称カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）が共同で設立した国際的な機関です。産業革命前からの世界の平均気温上昇を 1.5°C に抑えることを目指す「パリ協定」が求める水準に整合するように、科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標の設定を世界の企業に働き掛け、審査・認定を行っています。

*² Net-Zero とは、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする考え方です。

*³ FLAG（Forest Land and Agriculture）は森林・土地・農業のことで、これらの利用による温室効果ガス排出量は全世界の排出量の 20%以上を占めていることから、森林・土地・農業に特化した温室効果ガス削減目標を定めています。

【参考情報】

・ SBT イニシアチブ

<https://sciencebasedtargets.org/>

・ 明治グループ長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」

<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/management/>

以上

MOOOOOOOORE SUSTAINABILITY は
人・社会・地球の健康の実現に向けた
明治グループのサステナビリティ活動
精神を表しています。

サステナビリティページはこちら↓

<https://www.meiji.com/sustainability/>

MOOOOOOOORE
SUSTA/NAB/L/ITY